

# 第4期区民会議の提言決まる

平成24年7月から始まった第4期麻生区区民会議は、2年間、精力的に活動を行ってきましたが、いよいよ平成26年6月にその任期を終了します。

第4期麻生区区民会議では、全体テーマ「人と人と心をつなぐ地域づくり」を掲げ、区民にとって特に関心が高く、特に対策が必要な2つの審議テーマを選定しました。

## 人と人と心をつなぐ地域づくり

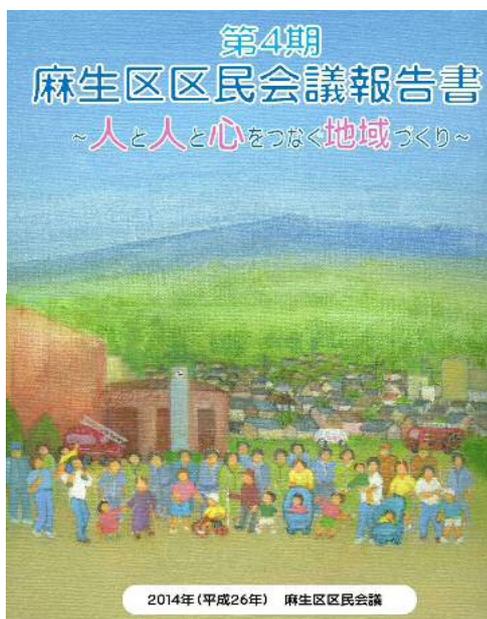
安全・安心  
のまちづくり

若者が住みたくなる  
魅力あるまちづくり

区民会議委員20名は、テーマを冠した2つの専門部会に分かれ、毎月1回、審議を行いました。また、関連団体やボランティア、専門技術者、区民等との連携・協力を得て、家具転倒防止のモデル事業やあさお子育てフェスタを実施し、提言の検討を行いました。

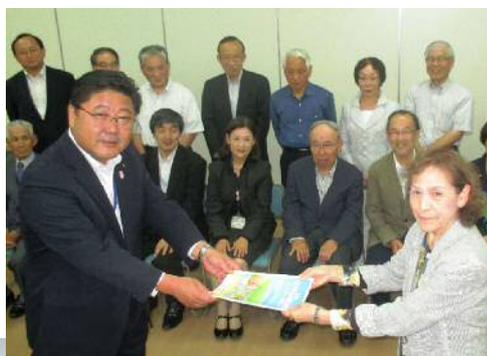
5月26日、最後の第8回全体会議にて、2年間の活動の集大成である報告書※が完成し、会議終了後、菅原敬子委員長から多田昭彦区長に提出されました。

今回は、それぞれの部会から生まれた提言（概要版）と4月13日に開催されたあさお子育てフェスタの結果を皆様にお知らせします。



2014年(平成26年) 麻生区区民会議

▲報告書は、7月以降、麻生区役所企画課窓口で配布します。また、区のホームページからもご覧いただけます。



▲菅原委員長より多田区長へ区民会議報告書が渡されました

◀ 今回の提言をまとめた区民会議委員



# 安全・安心のまちづくり部会 提言

大地震で想定される死者の死因のうち、「建物の崩壊」「家具の転倒」「火事」がその約9割を占めています。つまり、人的被害を防ぐには「わが家の安全対策」が最も大切です。区民の皆さまに主体的に取り組んでいただくため、「家具の転倒防止」に焦点を当てて実施したモデル事業等の成果を中心に、区に対して次のように提言しました。



## 【1】家具転倒防止に向けて

### ①パンフレットの作成・配布

- ・家具転倒防止対策モデル事業の成果を中心として、「大地震から助かる命を守る」ための考え方や参考情報を、一般区民向けに分かりやすく、コンパクトにまとめたパンフレットの案を作成したので、できるだけ速やかに、区民向け、関係者向けに広く頒布するなど、広く活用すること。

### ②取組を支援するための体制の整備(団体、コーディネーター)

- ・普及啓発、技術的支援、相談対応等を担う市民レベルや民間の支援団体が立ち上がることが望まれることから、市や区がそのために必要な支援を行うこと。
- ・区民の具体的な取組が実施されるよう、コーディネーター役の人材を確保・養成すること。
- ・地域防災組織や企業と連携し、区民の自主的な取組を支援し、普及させていくこと。

### ③普及啓発のための説明会、出前講座の開催

- ・上記パンフレット等を活用して、モデル事業の成果を広く区民や関係団体に普及させるため、市や区の連携・協力関係のもと、家具転倒防止の説明会や出前講座等を開催すること。

### ④区民の取組を支える専門技術者の協力を

- ・家具転倒防止方法の中には、大工等の専門技術者の協力が必要な場合もあるため、住まい方に合った方法を提案できる専門技術者の人材確保を図ること。

### ⑤市・区の政策的な支援と取組を

- ・市や区による財政的、技術的、情報面で支援する体制を整備すること。

## 【2】家屋の倒壊防止の普及、火災予防・火事発生への対応のために

### ①家屋の倒壊防止の普及

- ・耐震性不十分な家屋の解消を目指し、普及啓発パンフレットの配布や説明会の開催等により、「家屋の倒壊防止」の重要性を広く区民に伝え、意識や取組を啓発すること。
- ・家屋が倒壊しても命を守る現実的に有効な方法として、「耐震シェルター」の普及について検討すること。



### ②火災予防・火事発生への対応

- ・大地震後の火災発生の防止と初期消火のため、各家庭や地域への消火器の設置を推進すること。
- ・大地震後の火災の大きな要因である「通電火災」を防止するため、「感震ブレーカー」の活用を検討すること。

## 【1】あさお子育てフェスタを契機とした地域の子育て支援体制の構築

「子育てしやすい環境づくり」のテーマを審議する中で、子育ての現場から課題として抽出された「親子が一緒に楽しめる場の提供」、「行政情報の提供」、「相談窓口の設置」などを解決する1つの手法として、「あさお子育てフェスタ」を平成26年4月13日（日）に開催しました。この結果を踏まえて区に対して次のとおり提言しました。

（※裏面で開催内容を紹介しています。）



### ①あさお子育てフェスタの継続的開催を

- ・ 来場者アンケート結果で、参加者の94.3%が継続して開催してほしいとの要望があった「あさお子育てフェスタ」を、今後も麻生区で継続的に開催すること。
- ・ 継続的に開催するために、区役所は地域の多くの子育て支援者が参加できる体制づくりを支援すること。



### ②地域で子育てを支援するネットワークの強化

- ・ 子育て関係団体、個人、グループ等による子育て支援の輪が広がり、子育て中の親子を支える「地域の子育て力」の強化につながるように、子育てフェスタ開催を契機に団体同士のネットワークの強化に向けた支援を行うこと。

## 【2】子育て世代が楽しめる豊かな芸術文化環境の区内区外への情報発信を

「芸術・文化のまちづくり」を審議する中で、あさお子育てフェスタの会場で子育て世代から生の声を聞き、しんゆり芸術のまちに住む子どもたちが芸術文化に触れ、楽しむ機会を得られるように、区に対して次のとおり提言しました。

- ・ 子育て世代に向けた芸術文化情報を、町内掲示板やホームページ等で、カテゴリ一別にするなど工夫をしてわかりやすく発信し、地域に届けること。



## 【3】麻生区の「芸術のまち」構想の推進と独自ブランドの確立

### ①活性化に向けた情報発信の強化を

- ・ 芸術文化の「にぎわい」が共生する街並みを実現するために、景観形成基準の緩和内容やイベントの広報、市・区等の後援取得の意義等を地域へわかりやすく周知すること。
- ・ 芸術文化団体が利用可能な練習場所などの幅広い情報の収集と発信を進めていくこと。

### ②今後の芸術のまちづくりに向けて、有意義な意見交換の場を

- ・ 区役所が「(仮称)麻生芸術文化懇談会」や「(仮称)あさお芸術・文化交流カフェ」などと連携しながら、「しんゆり芸術のまち」がブランドとして確立されるよう、芸術・文化のまちづくりをさらに推進すること。

# 第1回あさ子育てフェスタ

## 2500人のご来場ありがとうございました

今回は、『子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～』をテーマに開催しました。

会場は、開始時間から終了時間まで、予想をはるかに超える大勢の親子連れで賑わい、お父さんの姿も多数見られました。運営は、地域の子育て支援団体や主任児童委員部会の協力と熱意により準備から実施まで手際よく開催され、フェスタは大成功のうちに終わりました。

### 【区役所前広場】

育児用品のフリーマーケットが開催され、フェスタ開始直後から大勢の親子で賑わいました。時折登場した「かきまるくん」と写真撮影をする親子の姿もありました。



### 【区役所2Fホール】

保育・幼稚園児の作品展では、折り紙や写真などで装飾された素敵なポスターがたくさん掲示され、親子の関心を集めました。また、子育て情報コーナーでは、相談員が子育てに関する相談を受けました。



### 【予防接種ホール】

昭和音楽大学によるミニコンサートや人形劇などが開催され会場は熱気に包まれました。



### 【区役所4F会議室】

#### 第1会議室 遊び・交流の部屋

和光大学他により、自宅ではなかなかできないような親子がともに楽しめる各種イベントが繰り広げられ、楽しんでいました。



#### 第2会議室 アンパンマン上映会

人気のため上映を1回追加し、いずれの回も満員となりました。

#### 第3会議室 工作の部屋

年配の方から教えてもらう工作や、自分で作ったもので楽しそうにお友達と遊ぶ姿が印象的でした。



#### 第4会議室 フリースペース情報相談

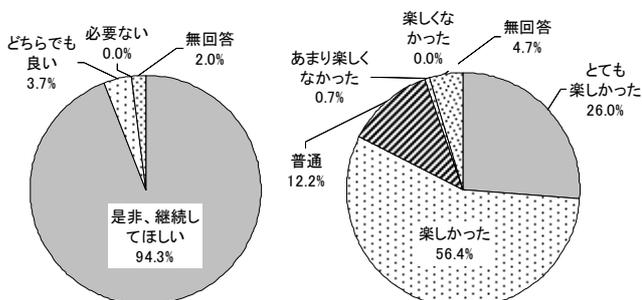
親子が自由に交流できるスペースや小児医療情報・相談コーナーを設置しました。

#### 第5会議室 絵本・おはなし会

自由に絵本の読み聞かせができる場所の提供と講師によるおはなし会が随時開催されました。

### 来場者アンケートより

「あさ子育てフェスタ」の感想と継続実施の希望について聞いたところ、回答者の94.3%から「是非継続してほしい」との回答があり非常に高いニーズが検証されました。また、「とても楽しかった」「楽しかった」を合わせて82.4%が「楽しかった」との回答を頂きました。



### 家具転倒防止の普及啓発活動

「安全・安心のまちづくり部会」は、あさ子育てフェスタ2階ホールの一角で「家族の安全を守る！家庭でできる家具転倒防止の対策について」と題して、家具転倒防止モデル事業の成果の普及啓発活動を行いました。

